

令和2年度第1回
子ども・子育て会議

委員からのご意見

連番	ページ	No	事業名	意見要旨
1	3	7	子育て講演会の実施	どのような内容の子育て講演会が行われているのか資料では分からなかったが、小学校入学前と思春期のみの講演会だけで充分とは思えない。子どもの発達段階に合わせた「子育ての知識」を保護者が学んでいくことは大事だと思う。小学校で定着してきたからといって「子育て講演会」の開催を各小学校に任せていては、いずれ開催する学校としない学校が出てくるのではないかと危惧している。
2	3	7	子育て講演会の実施	コロナ禍で中止になったが、来年度は実施してください。
3	3	8	認定こども園等における情報提供	(認定こども園や保育所等における未就学児童の保護者を対象とした情報提供等について)実績が伸びていることから、評価できる。
4	4	9	「NPお母さんひろば」の展開	参加人数は増えているのに開催箇所が減っていたのはなぜでしょうか。保護者同士の交流はとても大事だと思いますが。
5	4	11	育児支援家庭訪問の実施	こどもルームに自ら行かない、自ら相談に行かない保護者もいるのでは。家庭訪問を完全にやめてしまって大丈夫だろうかと思えます。
6	4	11	育児支援家庭訪問の実施	5年間の実績で目標は100回ではなく50回が妥当ではないでしょうか。
7	5	13	乳幼児健康診査の機能強化	令和元年度の達成率よりも明らかに増える未受診者対策を来年度の宿題にしましょう。
8	6	15	予防接種の勧奨	日本脳炎Ⅱ期、DTの間診表送付は効果がありました。ロタの接種率が心配です。
9	7	17	乳幼児期における食育の推進	離乳食はスプーンであげることが中心と考えられていますが、手づかみで食べることにより進む方も多いです。離乳食を食べないことに悩む母親によりそった離乳食のパフレット等があると助かります。
10	8	19	待機児童の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の施設が定員割れをしているのに、新設の保育所等はいらないのではないか。 ・ 1、2歳児の待機児童がいるのであれば、小規模(0~2歳)園を造るべきではないか。 ・ なぜ、入園できないのか疑問
11	8	19	待機児童の解消	大分市の待機児童解消の取組み、ありがとうございます。行政と私立保育施設が一体となつての取組みの成果として、待機児童が減少した成果と思われます。今後も私立保育施設も待機児童解消に一層協力して取組んでまいりますが、全私立保育施設が、現場の声を反映することなく新たな保育園が突然近隣にできることを不安に思っています。その地区の既存の保育施設の声を反映した施策をお願いします。
12	8	20	乳幼児期における教育・保育の提供	将来的に認定こども園(幼保連携型)に集約していく方向と明文していますが、令和2年4月1日現在で全国の市町村の保育施設を利用している人数は2,842,208人で、うち保育所を利用している人数は2,039,179人、幼保連携型認定こども園については553,707人で全体の19%しかありません。制度がスタートしてから5年経過後の数字です。他は幼稚園型認定こども園、地域型保育事業等々です。新制度が5年経過しても19%しかないのに、将来的に認定こども園(幼保連携型)に集約していく方向の根拠を教えてください。
13	9	21	幼稚園教諭や保育士等の質の向上	大分市も多くの研修を計画していますが、キャリアアップに適用できる研修を増やしてほしい(処遇改善研修として)。

連番	ページ	No	事業名	意見要旨
14	9	22	幼稚園教諭や保育士等の人材確保	私立の保育士等の人材不足が深刻になっている。来年度公立保育士の公募で6人の採用が市報に掲載されていたが、公立は給与が高いので私立を圧迫するのではないか。同等になるように大分市の手当てを見直してほしい。
15	9	22	幼稚園教諭や保育士等の人材確保	名古屋市のように保育士の給与水準を上げるように市がサポートしていただきたい。
16	9	22	幼稚園教諭や保育士等の人材確保	・中長期にわたる人材確保（中学生から）は大賛成であり、よろしく申し上げます。 ・次期計画の指標として「常勤保育士の離職率」並びに「安定的な人材確保」については早急な対策が求められています。
17	10	28	延長保育事業	延長保育を利用する園児数が平均6人以下（1～5名）の場合、延長保育事業の補助金は年間30万円です。12か月で割りますと、月額25000円です。保育士は園児が1名いても保育士を2名勤務する制度となっています。補助金月額25000円を月25日で割りますと、1日1000円の補助金です。日額1000円で保育士2名の人件費は園の持ち出しの赤字となっています。5名以下で利用されている市内の私立の保育施設は大変困っています。正直なところ中止したいけれど、子どものため、保護者のために、その保育施設の昼間の保育する人件費を振り分けたり、工面しています。もちろん、昼間の保育士の人件費はさらに減額となります。目標数値を100%にしている事業ですので、現場の実情に見合うよう補助金増額にするなどをしての事業施策にされてください。
18	13	36	学校における人権・同和教育の推進	（連番24「児童虐待防止のための広報・啓発」と共通） 昨年、久保健二先生の講演会を聴きにいきました。「基本的人権」人が生まれながら享有するもの 何かの義務を果たすことが条件ではない。「子どもの権利」の保障等「権利」という概念について詳しく学べ、とても良い講演会でした。学校の人権教育でも、こういうことを親子で学べたら、親子関係も見直すことができ、虐待防止にもつながるのではないかと思います。よい講演会だったので、もっと多くの方に聴いてほしいと思いました。
19	14	38	生き生き学習サポート事業等	大在でも70歳以上の高齢者で各種のエキスパートOBがいるため、敬老会などに協力していただき、人材を確保していただきたい。
20	16	41	いじめ・不登校等対策の充実	現在が◎の達成であっても、未然防止が0にはならないので、不登校児をいかに中学校、高校進学につなげていくかに注力していただきたい。
21	16	41	いじめ・不登校等対策の充実	これらのことに関して相談を受ける担当のスクールソーシャルワーカーの対応が一貫していない（経験値や考え方に影響している）と思われる現実があります。
22	19	46	障がい児に対する地域療育等の支援	専門の医療機関の受診待ちが多すぎる。また診察を12歳まで等年齢制限をかける病院もある。思春期（12歳から）以降問題が顕著した発達障がいの子どもを診てくれる医療機関が少ない。行政の支援で何とかならないかという声が出ています。
23	22	58	関係機関との連携強化	一定の知識、相談援助技術の研修やスーパーバイザーによる助言等の充実にこれからも力を入れていただきたいと思います。

連番	ページ	No	事業名	意見要旨
24	22	59	児童虐待防止のための広報・啓発	(連番18「学校における人権・同和教育の推進」と共通) 昨年、久保健二先生の講演会を聴きにいきました。「基本的人権」人が生まれながら享有するもの 何かの義務を果たすことが条件ではない。「子どもの権利」の保障等「権利」という概念について詳しく学べ、とても良い講演会でした。学校の人権教育でも、こういうことを親子で学べたら、親子関係も見直すことができ、虐待防止にもつながるのではないかと思います。よい講演会だったので、もっと多くの方に聴いてほしいと思いました。
25			全体的にみて	障がいのある子どもの保護者としては、<目標1>の達成率が低いことが気になります。
26			その他意見（コロナ対応）	①コロナによる濃厚接触者（保護者又は子ども、教師等）が出た時点の登園について、PCR検査の結果が出るまでの間の保育（開園）に対する現場の恐怖は半端ないものがあります。もし「陽性」だったとした時、精神的・肉体的な負担を想定し、各施設に対し「自宅待機」や「休園」などの判断ができるようにできないのでしょうか。 ②台風10号の時もそうでした。「警戒レベル4」にならないと休園にはならないことに対する不安は尽きませんでした。各地域によって現場状況は違うと思いますが、まずは子ども、保護者、教職員の安全確保が第一と思います。登園する保護者の自宅地域の状況もまちまちです。せめて、小・中学校がいち早く休校を決定する中、働く保護者が最優先でなければならないこともよくわかりますが本当にこれで良いのでしょうか。 ※1例にしか過ぎませんが①②の対応など働く先生方や先生方の家族のことは後回しになっています。先日も当会の理事会でコロナ対応について協議した際、出席理事の内2名の理事の園で途中退職者が出たそうです（各1名ずつ）。コロナのことだったので引き止められなかったとも話していました。 これらのことを考えてみても、今後この素晴らしい仕事をしてくれる人材は育っていくのかととても心配しています。待機児童解消で園が増えても常勤保育士がいるか、集まるか、安定できるか、など。コロナ対応ひとつ取ってみても、先生方の不安を解消する緩和策は早急に必要だと思います。先日、当園で①のことが起き、「自宅待機」の対応を決断。保護者からも先生方からも大絶賛されました（補助金はカットされましたが）。今は「安心・安全」を示すことです。先生方が安心して働ける職種にしていきたいと切に願います。